



## 電池づくりから環境を学ぶ (1月16日)

北児童館で、環境イベント「竹炭電池づくり」が行われました。三島市ストップ温暖化推進協議会の会員が講師となり、5人の小学生が竹炭とアルミ缶を使った電池の作り方を教わりました。チャレンジした子どもたちは、講師に質問を投げかけるなど実験を通じて電池の仕組みを学びました。

## 昔の道具に興味津々 (1月21日)

富岡第二小学校2年生の児童19人が、昭和初期の農家の居間を再現した住居を訪問しました。住居は校区内に住む眞田さんの自宅で、展示された道具は地域で保管されていたものです。教科書の挿絵で見た、いろりや臼、鉄びん、かめ、木づちなどの実物を見た児童たちは、驚きの声を上げながら興味津々の様子でした。



## 電波に乗せて50周年を広く発信 (1月23日)

富士裾野アマチュア無線クラブが「市制施行50周年記念局」(コールサイン：8J2SUSON)の運用を開始するにあたり、市役所で公開運用を行いました。会長の荻野<sup>さとし</sup>哲さんは「裾野市は富士山の麓にあると言えば、世界中の人に伝わります。市が50周年を迎えたことを電波に乗せて広く発信したいです」と話しました。



## 映画「樹海村」試写会を開催 (1月24日)

ロケフェスタ2021映画「樹海村」試写会が、生涯学習センターで行われました。「樹海村」は昨年の夏ごろ市内で撮影された、富士の樹海を舞台にしたホラー作品で、2月5日(金)から全国劇場公開されています。市役所では2月12日(金)まで、同作を含む市内で撮影された作品のポスターや台本、色紙を展示したパネル展も行われました。 特派員：杉本 武満





### パラサイクリングの魅力学ぶ (1月26日)

向田小学校で、障害のある人の自転車競技、パラサイクリング日本代表選手の福井万葉さんと、(社)日本パラサイクリング連盟広報の大西涼太郎さんが講演を行い、競技の楽しさなどを話しました。児童たちは、競技を始めたきっかけや、けがをしたエピソードを真剣に聞き、質問の時間になると、たくさんの質問を投げかけ競技への魅力を深めました。

### 書き初め展を開催 (1月27日)

鈴木図書館2階の展示室で、書き初め展が開催され市内の小・中学校から各学年2点ずつ選ばれた138点の作品が展示されました。展示された作品は、大きな文字で伸び伸びとした筆遣いの力作ばかりです。会場では、自分の作品を見つけて喜ぶ親子の姿がありました。 特派員：小林 健次



### 自作のおもちゃを通じて科学を体験 (1月30日)

生涯学習センターで、子どもの体験教室モノづくりを通じた「科学教室」が開催されました。(株)トヨタエンタプライズ東富士総合事務所の中村さんと杉山さんが講師となり、ペットボトルと風船で作る「ペットボトル空気砲」や、輪ゴムの力を利用して動く「もどろっカー」などのおもちゃを作り、楽しく遊びました。

### 外で元気に鬼退治 (2月3日)

さくら保育園で、節分の豆まきが行われました。園庭に現れた鬼に向かって園児たちは距離を取って「鬼は外」の掛け声とともに力いっぱい豆を投げました。中には鬼を怖がって先生の後ろに隠れる園児もいましたが、鬼が退治されて宝物の折り紙などをもらえると、元気な笑顔が戻りました。

